JA全農ぐんま

全農 ZEN-NOH
食と農を未来へつなぐ。

県本部通信 Monthly Zen-noh Gunma

9
2026 September
No.292

This month's photo 花木流通センター　観葉植物「エクメア」

Contents

事業のうごき
JAピックアップ！
インフォメーション
アートクッキング
農業チャレンジャー
花木流通センター便り

ZENNOH_GUNMA
JA全農ぐんま
公式インスタグラム
情報発信中!
ぜひご覧ください

農とあゆむプロジェクト
私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき

畜産農産部

◆酪農畜産課

○生乳の計画生産の推進
○初妊牛導入推進
○子牛渋川市場出荷推進
○素牛導入推進
○種豚導入推進

◆米麦特産課

○令和７年産民間流通麦引取推進
○令和８年産民間流通麦集荷推進
○令和９年産契約推進（入札前推進）
○「麦とろ麺」特別推進（推進目標　4,000ケース）（７月～９月）
○こんにゃく生玉取扱推進
○こんにゃく荒粉・精粉販売推進（入札の実施）
○米穀出荷契約推進

園芸部

◆園芸販売課

○共計ほうれん草販売（周年）
○共計味にら販売（周年）
○共計にがうり販売（9月末日迄）
○共計オクラ販売（9月末日迄）
○県統一規格共計露地なす販売（10月末日迄）
○県統一規格共計きゅうり抑制販売（12月末日迄）

◆園芸総合対策課

○ＪＡ野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
○農産物の安全・安心確保対策
○ＧＡＰ取組支援
○園芸事業基盤再構築に向けた取組

◆園芸資材課

○ネポン暖房機第２期推進（第２期・７～９月）
○秋冬用野菜出荷資材予約・当用推進
（段ボール・パック・フィルム・果樹用資材他）
○温床資材予約推進
（農ポリ・トンネル資材・こんにゃくマルチ他）
○秋冬用野菜種子推進（ほうれん草・ねぎ・きゅうり他）

生産資材部

◆肥料農薬課

○セルフブレンド推進
○水稲農薬当用推進
○園芸肥料農薬推進
○茎葉処理除草剤大型規格推進
○バンカーシート推進

◆担い手推進課

○大規模・系統未低利用生産者への推進支援
○ＪＡの出向く体制強化支援

生活燃料部

◆生活課

○蓄電池推進（周年）
○シロアリ防除事業推進（周年）
○ＪＡタウン取扱品目拡大
○WEB受発注システム各JA導入推進
○ペット火葬推進（周年）
○墓石事業取扱拡大推進（周年）
○アクロ技研外壁塗装推進
○アサンテサマーキャンペーン推進
○ＬＥＤ化推進
○食品商談会

◆ガス電力課

○ガス器具推進（４月～１２月）
○ＪＡでんき新規ご契約プレゼントキャンペーン（５月～１２月）

本所 施設農住部 群馬施設農住事務所

○賃貸アパート・個人住宅推進（周年）
○カクイチ物置・広スペースハウス推進（周年）
○住友不動産ハウジング㈱「新築そっくりさん」推進（周年）

土壌改良材キャンペーン抽選会

7月8日（水）、肥料農薬課は「暑い夏を乗り越えよう!キャンペーン」の抽選会を実施しました。このキャンペーンは対象3銘柄の土壌改良材「オイスターミネラル」、「34けい酸加里」、「ネバリン」を10袋以上購入の方に応募いただきました。令和7年11月から令和8年5月までの応募期間で523通の応募があり、厳選なる抽選の結果、100人の当選者が決定しました。A賞は50袋以上購入の方に「空調服」、B賞は30袋以上購入の方に「ウォータージャグ」、C賞は10袋以上購入の方に「リポビタンD」が抽選で当たるほか、応募者全員にもれなくこんにゃくがプレゼントされました。

ＪＡ成長戦略人材育成研修（視察研修会）

7月15日（水）、担い手推進課はJA成長戦略人材育成研修の一環として視察研修会を開催しました。この研修は、今後のJAの中核を担う人材の育成・確保および全農とJAで一体的な推進体制を構築することで継続的な系統事業シェア拡大に向けた取り組みを図ることを目的としています。研修では県本部が所有するセル苗センターとJA全農くみあい飼料株式会社の大間々肥料工場を視察しました。セル苗センターでは生産者のニーズに合わせた優良苗の生産に向けた取り組み、大間々肥料工場では適正施肥に基づくコスト削減に向けたセルフブレンド（施用者委託配合）事業について学ぶことができました。それぞれの視察先で参加者から質問が寄せられ、多くの意見が交わされました。

令和８年度麦類目ぞろえ会

7月8日（水）、JAグループ群馬農産物検査協議会はJAビルで農産物検査員による検査基準を確認する麦類目ぞろえ会を開催し、JAの検査員ら27人が参加しました。今年度については、県内JAから提供いただいた8年産サンプルと関東農政局群馬県拠点の7年産サンプルを鑑定試料としました。鑑定試料は普通小麦15点と普通小粒大麦5点、ビール大麦5点の計25点とし、農産物検査基準に基づき品位鑑定を実施しました。麦類目ぞろえ会を開催することでJAグループ群馬の農産物検査員の技術向上と群馬県産麦の品質統一を図りました。

夏の高原野菜フェア

7月18日（土）、園芸販売課は豊洲千客万来で長野県本部と協力し「夏の高原野菜フェア～生産量日本一八ヶ岳高原レタス・嬬恋高原キャベツ合同PRイベント～」を開催し、多くの来場者で賑わいました。このフェアは、夏秋期日本一の生産量を誇る長野県のレタスと群馬県のキャベツを首都圏の消費者に対し、産地の魅力や美味しさを広く発信し、夏場の野菜消費拡大を図る目的で開催されました。会場では、八ヶ岳高原レタスと嬬恋高原キャベツがセットで税込み100円で販売されたほか、キャベツ味噌マヨネーズの試食提供や抽選会を通じて産地の魅力を発信しました。

夏秋キャベツ県協議会

7月21日（火）、園芸販売課は中之条合同庁舎で、令和8年度最初の「夏秋キャベツ県協議会」を開催し、JA担当者（JAあがつま、嬬恋村、利根沼田）や群馬県、当県本部担当者ら11人が出席しました。協議会では、同課國松担当より市場情勢及び他産地情勢、坂本担当より令和8年度計画及び7月出荷見通しについて説明がありました。また、荒木課長代理の司会のもと、JA担当者から出荷進度、品種、作柄の状況を確認しました。本年度も生産者支援、夏秋キャベツの安定供給に向けて、関係者間で協力して、活動を行っていきます。

お肉の食育体験

7月25日（土）、（公社）全国食肉学校が主催する「お肉の食育体験」が開催され、県内13人の小中学生とその保護者らが参加しました。当日は「いのちをいただく」をテーマにした授業が行われ、食肉学校の講師と学生による豚枝肉の脱骨・整形の後、子どもたちがナイフでとんかつ用や焼き肉用にカットしたりソーセージをひねったりしました。参加者は大切に育てられた家畜がどのようにお肉として食卓に並ぶのか、普段何気なく食べているお肉の裏側には、多くの人の手と命が関わっていることを改めて実感する機会となり、体験を通して命への感謝と食への理解を深めました。

第43回群馬県もも品評会
第39回群馬県プラム品評会

7月22日（水）、群馬県庁で「第43回群馬県もも品評会」と「第39回群馬県プラム品評会」が開催されました。この品評会は、群馬県園芸協会主催で群馬県や当県本部などが後援し、品質・生産の向上と安定した消費の拡大を図り、園芸の健全な発展に寄与することを目的に開催しています。会場には、ももが14点とプラムが42点出品され、審査員が形状や外観、品質を審査し、会長賞と特別賞が選ばれました。

Instagramキャンペーン

インフォメーション | Information |

花木流通センター Xキャンペーン

群馬県内でのみ販売している「谷川きのこ園」の生しいたけ！バーベキューでの一品！煮物の一品！揚げ物の一品！お鍋の一品！様々なシーンを彩ること間違いなしです！新鮮な状態のままお食事いただきたいので、商品が届きましたらすぐに調理することをおススメします！

おいしい日本と暮らそう
JAタウン
www.ja-town.com

アクセスはこちら！
https://www.ja-town.com/shop/c/c3201

農業チャレンジャー

農チャレ

1酪農を営む田村さんご夫妻
2よく懐いている子牛たち

自給飼料の増産と効率化で未来を拓く酪農経営

JAあがつま管内　田村 和貴 さん

＼ Profile ／

田村 和貴（たむら かずき）さん
1993年生まれ33歳
JAあがつま青年部・
乳牛改良同志会所属
飼養頭数：56頭
趣　味：子供と一緒にカブトムシを育てる。

―今回の農業チャレンジャーは、JAあがつま管内で酪農を営む田村さんです。

―就農時期は?

大学を卒業し、22才で就農しました。

―就農のきっかけは?

祖父の代から酪農と野菜を作り、牛舎が家の前にあって、そこで5・6頭飼っていました。父の代には26頭程に増やし、それを見ながら育ち、長男だったので自然と跡を継ぐために農業高校と酪農学園大学で学び就農しました。

―就農されていかがでしたか?

大学時代に酪農と肉牛のバイト、ゼミで研究活動もして、教授からは「これを乗り越えられれば就農しても大丈夫だから」と言われましたが、実際に就農してみて更に過酷でした。家族経営という限られた人数の中で、すべての作業をやらなければならないので、朝早くから夜遅くまで働く毎日が続き、当時の若い自分にはとても過酷でした。

―現在は何人で作業されているのですか?

メインは父と母と自分で、妻は子育て中ですが、できることをやってくれています。

―和貴さんが就農後、変えたことはありますか?

就農3年目に牛舎を増築し、収容頭数を30頭分増やして56頭規模の牛舎にしました。

―1日のスケジュールを教えてください。

朝5時に牛舎に入って、掃除や餌やり、搾乳作業、9時からデントコーンなどの畑の作業と堆肥処理、牧草の管理、収穫時期は13時から15時くらいまでトラクターに乗って、15時から20時くらいまで朝と同じ作業を行い、自宅に帰ります。

―自給飼料を使っているのですね。

1年分賄えるだけの牧草は作れないですし、ビタミンやミネラルなどの微量要素はやはり購入しなければなりません。無駄がないように飼料コンサルタントに設計してもらいTMR飼料も与えています。うちのデントコーンの栄養価を分析した結果でそれを充足するように設計したものが2日に1回届きます。

―乳量は1日どれくらい?

夏場で乳量が少なくなっていて、平均で36kg／頭ほどです。現在40頭を搾乳しており、1日あたり約1.4tの生乳を出荷しています。

―心掛けていることは?

牛が疾病にかかってから治療するのではなく、予防することを心掛けています。乳房炎ならばワクチンですね。色々なワクチンがあって、下痢予防や呼吸器病のワクチンなどを使って疾病になってからの治療ではなく、予防することを心掛け、それが無駄な出費を抑えることにもつながっています。

―今後の展望をお聞かせください。

今後は自給飼料の増産を進め、デントコーンの作付面積を15町歩から18町歩へ拡大し、飼料コストの削減と乳量向上による収益増を目指します。また、永年牧草と細断型ロールベーダの導入を進めて作業負担を軽減し、将来的には自家育成体制の確立にも取り組んでいきたいと考えています。

―自給飼料の増産や作業負担の軽減に取り組み、自家育成体制の確立を目指す田村さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

JAピックアップ！
～JAの活動をご紹介～

JA前橋市

まえばし産ブランド肉を ＰＲららん藤岡でトップセールス

▲ブランド肉と農協牛乳をPRした前橋市、JA、関係団体職員

前橋市とJA前橋市は6月13日、藤岡市の道の駅「ららん藤岡」にて、まえばし産ブランド肉「上州牛まえばし」「まえばし麦豚」のトップセールスと農協牛乳消費宣伝を行いました。

小川晶市長や矢端幹男組合長ら約30人が参加し、県内外の消費者に前橋農業の魅力をPRしました。小川市長は「前橋市は県内農業産出額1位」と誇りを語り、矢端組合長はブランド肉の購入を呼びかけました。

会場では試食用の焼き肉と牛乳が配布され、多くの来店者がその味を堪能しました。当日は同店の牛肉・豚肉が2割引きとなる特売も実施され、多くの買い物客で賑わいました。

肥育部会の鈴木高弘部会長は「この取り組みを機に、一人でも多くの人にまえばし産ブランド肉、牛乳の美味しさを知ってもらい、消費拡大に繋げたい」と話しました。

JAたかさき

種子小麦「ゆめかおり」検査

▲検査では、全ての袋を確認します。

JAたかさきは7月30日、同市矢島町東部カントリーエレベーターで、種子用小麦「ゆめかおり」の検査を実施しました。県西部農業事務所、県米麦振興協会、全農ぐんま、生産者ら10名が参加、JAの農産物検査員が検査しました。

種子小麦は生産者1名が、2.5ヘクタールで作付けして、圃場検査2回と発芽試験を経て300袋（1袋30キロ）出荷されました。

検査は、全ての種子袋を開口して一袋ごとに厳正に行われ、穀刺し棒で種子籾をカルトンに取り、形質や色、整粒歩合や被害粒などを丁寧に確認しました。

検査員を務めた営農部高瀬勇治さんは「収穫適期の降雨で、収穫遅れによる品質が心配されましたが、生産者の丁寧な乾燥調整で、例年通り良質な種子となった」と評価しました。

出荷された種子小麦は、全量が買い上げとなりました。

JAみどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更になることがあります。

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時　間
たのしくおいしく食農教育／ＪＡ利根沼田	9月７日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※9月13日(日)	AM 8:00～ 8:30
やっぱりおいしい高崎ハム！／JA全農ミートフーズ	9月14日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※9月20日(日)	AM 8:00～ 8:30
梨生産者・直売所（案）／ＪＡはぐくみ	9月21日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※9月27日(日)	AM 8:00～ 8:30
農林大学校（案）／農林大学校	9月28日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※10月４日(日)	AM 8:00～ 8:30

ポチッとぐんテレ 3ch 放映のお知らせ

◀加賀爪 聡アナ

小林 優アナ▶

Art Cooking

大根のサーモン巻き甘酢かけ

Food adviser **石垣 恵美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材　料

2人分　　（1人分79kcal）

- 大根 …… 150g
- きゅうり …… 1/2本
- サーモン（生食用）…55g
- 水 …… 2カップ
- 塩 …… 大さじ1
- 大葉 …… 適量
- 甘酢
  - 酢 …… 大さじ3
  - 砂糖 …… 大さじ2
  - 塩 …… 小さじ1/4
  - オールスパイス …… 小さじ1/4

作り方

1. 大根は5cm幅の輪切りにし、かつらむきにする。塩水（水に塩を溶かしたもの）に浸し、しんなりするまで置く。
2. きゅうりも同様にかつらむきにし、塩水に浸けてしんなりさせる。
3. サーモンは2～3cm幅に切る。
4. 大根ときゅうりをそれぞれ5cm程度の長さに切る。大根の上にきゅうり、さらにサーモンをのせ、端からくるくると巻く。
5. 甘酢を作る。器に**4**の大根巻きを並べ、上から甘酢をかける。冷蔵庫で15～30分ほど冷やして味をなじませる。
6. 皿に大葉を敷き、その上に**5**の大根巻きを盛り付ける。残った甘酢を大葉にも軽くかけて仕上げる。

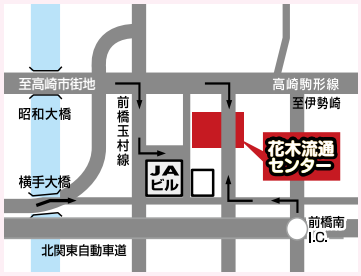
花木流通センター便り

開催日	内　容
9月19日（土）	栽培講習会 （にんにくの栽培方法　芽キャベツ定植など）
9月20日（日）	栽培講習会 （年越用ブロッコリー・キャベツの育て方）

KABOKU
花木流通センター

JA 新鮮ぐんま みのり館

	営業時間	定休日
花木流通センター	4・5月：9:00～17:00 6～3月：9:00～16:00	4月・5月：無休営業 6月～3月：毎週火曜日定休
みのり館	4～3月：9:00～17:00	年末年始を除いて無休営業
横名十文字うどん	4～3月：11:00～14:30	



住　所
お問合せ

前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番　JA全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp

□発行／令和8年9月1日発行　□発行人／遠藤　政裕　□ホームページアドレス／https://www.zennoh.or.jp/gm/　□E-mail／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
□発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画管理課　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地　TEL027-220-2223　Fax027-220-2229
R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。